

7. 労働市場

マクロ経済で習うこと

中心はGDP

(支出の内訳)

$$GDP = \text{消費} + \text{住宅投資} + \text{設備投資} + \text{在庫投資} + \text{公共投資} + \text{政府支出} + \text{輸出} - \text{輸入}$$

(時系列)

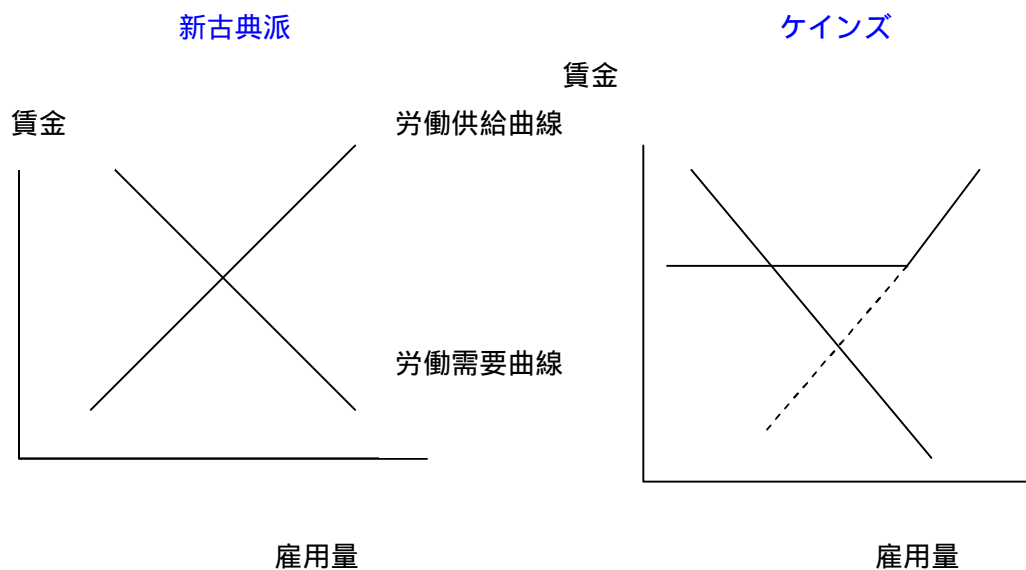
$$GDP = \text{経済成長} + \text{景気循環}$$

市場	生産物市場	貨幣市場	労働市場
供給	企業	マネーサプライ	労働者 (失業率)
需要	消費・投資	貨幣需要	企業
価格	物価 (消費者物価 卸売物価)	利子率 (国債利回り)	賃金 (雇用者所得)

2種類の失業

- {
自発的失業 どんなに景気がよくなってもなくなるしない失業。職探しのための失業(摩擦的失業)。プライドが高くて安い賃金で働きたくないことによる失業など。自発的失業による失業率を**自然失業率**という。
- 非自発的失業** どんなに安い賃金で働こうとおもっても職がない失業。

完全雇用 非自発的失業者がいない状態。



古典派の労働市場の考え方

市場メカニズムが働いて常に完全雇用が達成されている。

ケインズの労働市場の考え方

ケインズは賃金の下方硬直性を仮定する。

賃金の下方硬直性があると非自発的失業が生ずる。

非自発的失業をなくすには、需要を増やす必要がある。

